

神奈川 印刷ニュース

No.200

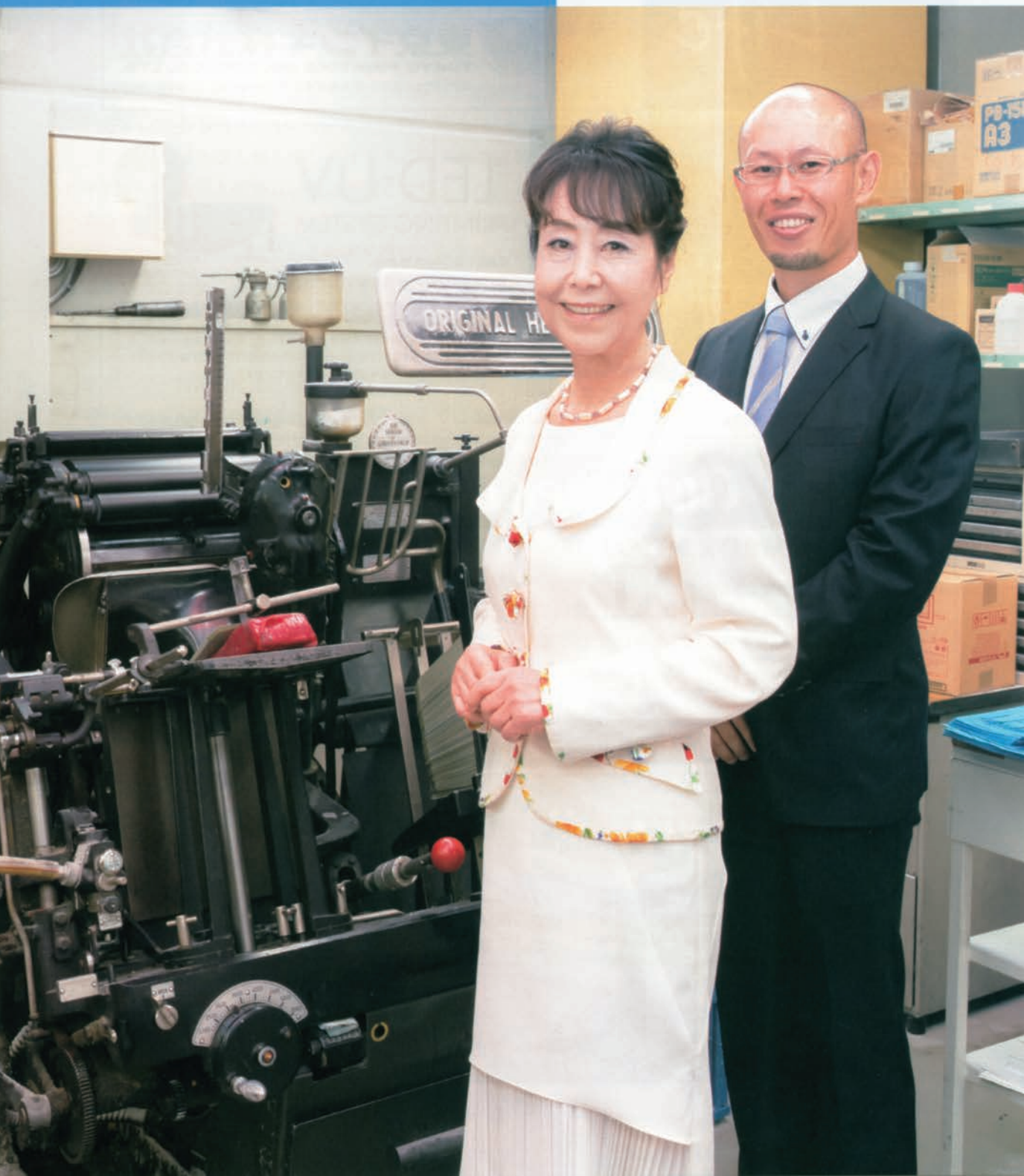
2017.夏

神奈川県印刷工業組合

〒220-0011 横浜市西区高島2-10-20

TEL 045-441-4223 FAX 045-453-2383

編集：総務組織委員会



＝ 組合員企業による CSR(地域活動) 取り組み事例 ＝

株式会社 日相印刷

●地域の大切な出版物を守っていく使命感に至った「仙客亭柏琳翻刻全集」発刊・寄贈活動

「神奈川県史」「相模原市史」等に記録されており、記録上、相模原で唯一の草双紙農民戯作者「仙客亭柏琳」は、株式会社日相印刷創業者 荒井 徹、功兄弟の5代前の先祖となります。

実は、貴重な地域文化人の作品であるにも関わらず、神奈川県・相模原市の図書館・博物館などの関連施設には柏琳の「作品(収蔵本)」が存在しておりませんでした。独自の探索の結果、国立国会図書館、慶應義塾大学図書館、早稲田大学図書館、専修大学図書館、立命館大学図書館、九州大学図書館に収蔵されていることがわかりました。そこで、柏琳の末裔にあたる創業者両名の宿願である先祖供養とともに、郷土相模原の文化的財産・歴史遺産を後世につなぐ一助になればと、2年の歳月をかけて、2016年12月に柏琳の作品を元の姿のまま1冊の書物(翻刻全集)として発刊し、神奈川県・相模原市の博物館、図書館や大学等、合計400冊を寄贈いたしました。

この活動は、地元新聞など各紙に取り上げられ、急遽、2017年度の相模原市の中学生に配付される社会科副読本「私たちの相模原」で柏琳について(1993年の大改訂時に資料不足のため削除されていましたが)、25年ぶりに紹介されることになりました。

仙客亭柏琳翻刻全集発刊を通して、分かったことは、地域財産となりうる出版物が埋もれている、または、次第になくなっていくということでした。

今回のCSR活動で、文字と紙の文化を守っていく印刷業の使命感と運命を強く感じ、さらに戦略的CSR=CSVとして強化していくことにいたしました。

●「社会貢献型出版サービス」への展開

柏琳の作品と同じように、全国的にメジャーでない書籍は、継続的な研究がなされないため、時代と共に忘れ去られていく傾向があります。メジャーでなくとも地域にとって「文化的財産・歴史遺産」となる書物を守るために「日相出版(屋号)」を平成29年6月より立ち上げました。

当社では、2013年より2年をかけて、発行者様よりデータをお預かりし、発注後、1冊から印刷・配送するPOD出版サービスサイト「クニーガ.jp」(<https://www.kniga.jp/>)を自社開発し、2016年1月よりスタートさせました。

登録・管理費など一切不要で、在庫ゼロ、半永久的に紙の本で出版することができますので、既に自費出版された、または、これから自費出版する地域研究本などの著作権者に呼びかけ、「社会貢献型出版サービス」という新しいビジネスモデルにつなげていきます。



特報で掲載



25年ぶりに相模原市の中学校副読本に掲載再開

